



桑葉の旗のもとに



令和7年10月6日第6号

青梅市立第三中学校

校長 小熊 克也

教育目標 学ぶ 鍛える 思いやる 10月号
経営理念 自分と人類の幸福を創造する人材の育成

○今取るべき判断・行動：「大造じいさんとガン」から

令和7年度も後期を迎えました。学校では生徒会本
役員の改選も決まり、後期委員会もスタートするところ
です。各学年とも大きな行事（1年青梅地域調査、2年
3日間の職場体験、3年修学旅行）を終え名実ともに大
きな節目のある時期となりました。また、「生活指導に
係る緊急事態宣言(R7.9.18 発出)」下にある三中にと
って、今取るべき自分の判断・行動が問われています。
今の学年が終わる時に現れる自分・学年・学校の姿に
思いを馳せてください。その実際の姿は自分が下した判
断・行動の数々の積み重ねで決定されます。この大きな節目に改めて考えたいことがあります。それは表題
の「大造じいさんとガン」です。は皆さんにとって懐かしい思い返されるでしょう。これは小学校5年生の
時に国語で習った教材だからです。あらすじを以下に紹介します。



三中正面玄関に咲くニチニチソウ 9/19
花言葉：優しさ、生涯の友

猟師（ハンター）を生業（なりわい）とする大造じいさんは毎年やってくるガン（カモ目カモ科の水
鳥）の群れが、ある時からまったく獲れなくなってしまう。群れのリーダーである「残雪」が群れを守るため、
危険を回避していた。「ただの鳥のくせに忌々しい。」と大造じいさんは様々な策を講じて狩ろうとしたが、どの
仕掛けをもってしても狩れなかった。いつしか大造さんの目的（狩り）は、ガンから「残雪」へと移っていつ
た。大造じいさんは、運よく捕らえることのできた一羽のガンを訓練し、罠（わな）に使用して「残雪」をおびき寄せて捕
らえようとしたが、ハヤブサ（鳥：タカ目ハヤブサ科の猛禽類）が来て罠のガンは襲われてしまった。その様子
に気が付いた「残雪」はそのガンを守ろうとしてハヤブサと戦った。激闘の末、「残雪」は大造じいさんも来たこ
ともあってハヤブサを追い払うことに成功したが、残雪は力尽きるとともに大けがをして苦しんでいた。それで
も、「残雪」は大造じいさんを睨み付け、堂々とした態度で大造さんと対峙した。その姿に感銘を受けた大造じい
さんは銃口を下げ、「残雪」を手当・看病し、ようやくけがが治った春、空へと返した。青空へと飛び去っていく
「残雪」に、大造じいさんは「また正々堂々と勝負をしようじゃないか。」と呼びかけて、物語は終わる。

この国語の授業で多くの皆さんが感じてきたのは大造じいさんの、残雪の行動を通して現れる心の変化で
す。最初は、獲物のガンを仕留められず、この原因であった残雪に対して、殺す欲望でしかなかった大造じ
いさんが、最後では憎しみを尊敬に変える判断をし、残雪を殺さないばかりか、傷ついた残雪を介抱し、復活
させています。この物語を久々に読んで、「私たちはその瞬間、瞬間で正しい判断・行動が求められている。
これを誤ると取り返しのつかないことになることもある。」ということを感じ知らされました。大造じい
さんは苦勞して手に入れた残雪を仕留めることができた筈ですが、残雪の生き方に感動し、生かしたところに
大造じいさんの生き方の美しさも感じられます。人間として取るべき姿、人間としての品性・品格の機微に
も触れる大事な物語だとも思いました。別の言い方をすれば、欲望に支配されないこと、自分と皆のために
努力している方を敬うことの大切さ、さらには、人は、欲望を理性でもって180度変えられることを訴
えたい物語なのではないでしょうか。生活指導に係る三中緊急事態宣言下にある今、大造じいさんの生き方
に学ぶ必要があります。今取るべき判断・行動をよろしくお願いします。

訃報

前青梅市立第三中学校長 ○○ ○○ 様（享年65歳）が令和7年9月5日にご逝去されました。ここ
に哀悼の意を表するとともに、昨年度まで5年間本校の校長として功績を残されたことに感謝の気持ちを
込め、謹んで心よりご冥福をお祈りいたします。

○10月等の学校ポイント

(1) 令和7年度後期・令和8年度前期代生徒会役員の紹介と校則の点検・見直しへの取組

生徒会役員選挙が実施され、2-3〇〇〇〇〇さん（会長）、2-2〇〇〇〇〇さん（副会長）、2-1〇〇〇〇〇さん（書記）、2-2〇〇〇〇〇さん（広報）、1-5〇〇〇〇〇さん（副会長）、1-1〇〇〇〇〇さん（書記）1-1〇〇〇〇〇さん（広報）が生徒会役員として選出されました。1年間どうぞよろしく願いいたします。去る9.22生徒会朝礼で同会長から、「これから校則の点検・見直しを行い

ます。校則は、多様性に富んだ世界を踏まえ、日本一国だけで通用するものであってはならない。」と力強く公約を発

信しました。すでに校則の点検・見直しに関する生徒アンケートが実施され、これに基づく代表委員会での討議と校

則の点検・見直し委員会（生徒会役員と校長・生活指導主任・生徒会担当教員）での協議を踏まえて学級会、生徒総会（12月）での議決を経ていきます。この機会を通じて

校則を自分事として考え、校則の遵守状況も踏まえ、必要に応じて明るい三中の未来にふさわしい校則に変えていきます。なお、別ページの通り、三中では今年度から校則ビジョンを定め、これに基づく運用を毎年行っていきます。



生徒会朝礼で発言する会長と役員一同 9/22

(2) 今週10/9木（社・数）・10金（英・国・理）は中間考査です

まだ勉強が必要です。特に数学に力を入れてください。ミライシード（タブレットにあるアプリ）でも対策が取れます。ぜひ活用してください。例えばテスト前に最適な「定期テスト対策ドリル」使ってみてはいかがでしょう。家庭でも休み時間でもできます。また数学には「学び直しドリル」があり、つまづいたところから学び直せます。誰もが自分のペース進められるのが魅力ですのでチャレンジしてください。

(3) 笑顔と学びのプロジェクト10/14火があります

劇団ポプラ様によるミュージカル「オズの魔法使い」を上演します。俳優さんの迫力ある演技とプロジェクトマッピングで変化していく舞台を鑑賞します。最後には俳優の皆さんと生徒たちによる「虹の彼方に」の合唱も実施予定です。生徒の皆さんは合唱祭に向けて、表現力を磨いてください。本校体育館にて13:40開演、15:15閉演予定です。保護者の皆様の観劇も可能です。ぜひご来校ください。

(4) 10/29水は第77回合唱祭ですスローガン「響力優唱 三中コーラスベストを尽くせ」に決定

これから練習が本格化します。保護者様におかれましては、ぜひご予定願います。場所は福生市民会館です。

曲目	1年 ※番号は順番	2年 ※番号は順番	3年 ※番号は順番
1組	⑤旅立ちの時～Asian Dream Song～	①ほらね、	③手紙～拝啓 十五の君へ～
2組	⑥COSMOS	③YELL	①青葉の歌
3組	①行き先	②越えてゆけ	②虹
4組	③地球星歌～笑顔のために～	④あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～	④信じる
5組	④怪獣のバラード		
6組	②絆		

○9月学校の様子 1年青梅地域調査(青梅学)9/26

昭和幻灯館



金剛寺



2年職場体験 9/24～26



3年修学旅行 9/29～10/1



興福寺



東大寺



夕食の様子



班長会等



伏見稲荷大社



清水焼絵付体験体験



金閣寺

〇部活動、がんばっています (8/25～9/28) ※敬称略



青梅市内大会(新人戦)8/30(男子バスケットボール部)
優勝を果たしました。おめでとうございます。
左写真は一中との対戦(青色ユニフォームが三中)



青梅市内大会(新人戦)9/6
(女子バスケットボール部)
準優勝を果たしました。おめでとうございます。
右写真は団結を高める三中

部活動名	大会名	団体／個人	大会日	対戦校	勝敗結果	内容等	
ソフトテニス（男子）	第37回AISカップ 西多摩地区中学生ソフトテニス強化研修大会	団体	8月29日				第3位
ソフトテニス（男子）	令和7年度 第8ブロック中学校ソフトテニス新人大会 兼 東京都中学校ソフトテニス新人大会予選（第8ブロック公認大会）	個人	9月6日	青梅西	勝		第5位
ソフトテニス（男子）		個人	9月6日	あきる野秋多	勝		第5位
ソフトテニス（男子）		個人	9月6日	羽村USC	勝		第5位
ソフトテニス（女子）		個人	9月6日	福生一	勝		
ソフトテニス（女子）		個人	9月6日	あきる野東	勝		
ソフトテニス（男子）		団体	9月15日	あきる野秋多中	負		第3位
ソフトテニス（男子）		団体	9月15日	福生二	負		第3位
ソフトテニス（男子）		団体	9月15日	青梅西	勝		第3位
ソフトテニス（男子）		団体	9月15日	あきる野御堂	勝		第3位
ソフトテニス（男子）		団体	9月15日	あきる野東	負		第3位
ソフトテニス（女子）		団体	9月15日	日の出大久野	負		第4位
ソフトテニス（女子）		団体	9月15日	日の出平井	勝		第4位
ソフトテニス（女子）		団体	9月15日	福生一	勝		第4位
ソフトテニス（女子）		団体	9月15日	羽村USC	負		第4位
ソフトテニス（女子）		団体	9月20日	青梅霞台	勝		第4位
ソフトテニス（女子）		団体	9月20日	あきる野増戸中	負		第4位
女子バスケットボール	青梅市内大会（新人戦）	団体	9月6日			準優勝	
男子バスケットボール		団体	8月30日			優勝	
陸上競技	第76回はちおうじT&Fトライアル	個人	9月6日				第7位
		個人	9月7日				第4位
		個人	9月7日				第7位
	第78回東京都中学校体育連盟第8ブロック陸上競技大会	個人	9月23日				第4位
		個人	9月23日				第5位
		個人	9月23日				第2位
		個人	9月23日				第8位
		個人	9月23日				第4位
		団体	9月23日				第3位
		団体	9月23日				第4位
		個人	9月23日				第7位
		個人	9月23日				第6位
		個人	9月23日				第8位
		個人	9月23日				第3位
		個人	9月23日				第2位
		個人	9月23日				第3位
		個人	9月23日				第7位
		個人	9月23日				第8位
		個人	9月23日				第8位
サッカー （三・霞台合同チーム）	第8ブロック秋季新人大会	団体	9月15日	菅生	負		
			9月20日	羽村	負		
			9月21日	新町・泉		引き分け	
			9月23日	あきる野西・五日市	勝	ベスト4 決勝戦進出	

10月・11月前半の予定

★給食あり

ST：放課後ステップアップクラス

月	火	水	木	金	土・日
10月6日★	7★	8★	9	10★	11・12
全校朝礼 ①教科授業 ST	SC ST ※臨時拡大CS	職員会議 学年会	中間テスト (社・数) SC	中間テスト (英・国・理) 一斉委員会 (後期初回)	
13	14★	15★	16★	17★	18・19
スポーツの日	代表委員会 (後期初回) ⑤⑥笑顔と学び のプロジェクト SC ST	合唱祭練習始	①1年学年練習 ④2年学年練習 3年復習確認テスト SC 3年数学教室 ST	①カット PTA自転車点検 ST	
20★	21★	22★	23★	24★	25・26
生徒会朝礼 ①学(議案書) ST	④カット ④⇔⑥チェンジ ③④3年学年練習 SC ST	④カット ※1校時8:40始 中教研 部活再登校 16:30	③カット ①②1年学年練習 ③④2年学年練習 SC 3年数学教室 ST	PTA自転車点検 (予備) ST	
27★	28★	29★	30★	31★	11月1・2日
①カット 安全指導 命の日 ST	⑤⑥前日指導準備 SC	合唱祭 (福生市民会館)	⑥学(合唱祭反省) SC 3年数学教室 ST	3年三者面談始 3年⑤⑥カット ST	
3	4★	5★	6★	7★	8・9
文化の日	3年三者面談 SC ST	3年三者面談 期末テスト1週間前	3年三者面談 SC ST	3年三者面談 ST	
10★	11★	12	13	14★	15・16
3年三者面談終 ST	SC ST	期末テスト	期末テスト SC	期末テスト	

※CS：学校運営協議会の開催（生活指導に係る緊急事態宣言の趣旨説明、協力、延長の是非）

※拡大の意味：CS委員に加え、今寺駐在所、今井駐在所の青梅警察署員も同席します。

予定は変更になる場合があります。ご理解とご協力をお願いいたします。

第三中学校 校則「生活の決まり」の点検・見直しのルーチンについて【以下、「校則ビジョン」という】

1 校則とその改定の意義・目的等

- (1) 多様性に富んだ東京、世界がある～Diversity&Inclusion 時代はすでに始まっている
 - 日本一国だけで通用するものの見方・考え方は日本人は生きられない。(繁栄が難しい)
 - ローカルな価値観・ルールの順守を求めることで、差別・偏見を生んでいる可能性がある。(相反する価値観を有する人に対して排他的になる)
- (2) 生徒指導提要 (改訂版 令和 4 年 1 2 月 文部科学省) が求める校則
 - 校則の制定に当たっては、少数派の意見も尊重しつつ、児童生徒個人の能力や自主性を伸ばすものとなるように配慮することもある。
 - 校則に基づく指導を行うに当たっては、校則を守らせることばかりにこだわることなく、何のために設けたきまりであるのか、教職員がその背景や理由についても理解しつつ、児童生徒が自分事としてその意味を理解して自主的に校則を守るように指導していくことが重要。そのため、校則の内容について、普段から学校内外の関係者が参照できるように学校のホームページ等に公開しておくことや、児童生徒がそれぞれのきまりの意義を理解し、主体的に校則を遵守するようになるために、制定した背景等についても示しておくことが適切。その上で、校則に違反した場合には、行為を正すための指導にとどまるのではなく、違反に至る背景など児童生徒の個別の事情や状況を把握しながら、内省を促すような指導となるよう留意。
 - その見直しに当たっては、児童会・生徒会や保護者会といった場において、校則について確認したり議論したりする機会を設けるなど、絶えず積極的に見直しを行っていくことが求められる。そのためには、校則を策定したり、見直したりする場合にどのような手続きを踏むことになるのか、その過程についても示しておくことが望まれる。
 - 児童生徒の参画の促進

校則の見直しの過程に児童生徒自身が参画することは、校則の意義を理解し、自ら校則を守ろうとする意識の醸成につながる。また、校則を見直す際に児童生徒が主体的に参加し意見表明することは、学校のルールを無批判に受け入れるのではなく、自身がその根拠や影響を考え、身近な課題を自ら解決するといった教育的意義を有するものとなる。

(3) 生徒 Agency を引き出す校則議論の視点

- ① 「見直さなければいけない校則があるのか」、公正で合理的な根拠を基に考える。

公正で合理的な根拠については、以下の視点を踏まえる。

 - ・安全性と公益性を優先する。
 - ・公序良俗 (≒道徳性) に反しないこと。
 - ・現段階における就職や高校生に求められる一般的なルール等を踏まえる。
 - ・世界標準 (Diversity & Inclusion 時代) としての視点も考慮する。
 - ② 遵法精神の向上
 - ・生徒が作り上げた校則の遵守状況を評価・点検し、守れていないのであれば改善取組が必要
- ※校則が守れていない状況にあるのなら、変える意味が乏しい。ただし、生命・安全等に関することは除く。
- ③ ①と②は阿輪だが、生徒 Agency を尊重して順番は①、②とした。
 - ・青梅市教育推進プラン改訂版 2 では「National Standard」を求めている。
 - ④ 大人 (成人) になることを踏まえ、責任の比重を今から高めて行く必要があること。

1 8 歳で成人になることを踏まえ、責任の比重を今から高めて行く必要があること。

Agency の定義

○Agency: 「変革を起こすために目標を設定し、振り返りながら責任ある行動をとる能力」と定義され、働きかけられるというよりも自ら働きかけることであり、型にはめ込まれるというよりも自ら型を作ることであり、また判断や選択に左右されたいくよりも責任を持った判断や選択を行うこと。日本の「主体性」や「主体」に近い概念として考えられるが、「社会参画を通じて人々や物事、環境がより良いもの」となるように影響を与えたいという責任感を持っていることを含意する」とされ、広い概念として捉えられている。

3 校則の議論・見直しの進め方

毎年度後期に新生徒会が中心となって進める。

- (1) 校則点検・見直し委員会発足／校則の議論・見直し実施要項を定める。(生徒会担当)【9月】
 - ※構成：校長、生活指導主任、生徒会担当、生徒会本部生徒 **★教員と生徒の事前調整**
- (2) 生徒会本部が生徒アンケートを実施【10月初旬 ※9月実施】

① 見直したい校則とその根拠の調査 ② 校則の遵守状況を調査

- (3) 生徒会アンケート結果に基づく生徒会本部の議論と方向性の確認【10月】
- (4) (3) に基づく生徒会本部の代表委員会への提案と代表委員会での議論、校則点検・見直し委員会へ提案する内容の決定【10月】
- (5) 以下、校則の見直しは、改定の有無にかかわらず、次の手順を踏む。

- ① 代表委員長と生徒会長による生徒朝礼でアンケート分析結果報告及び問題提起、改善取組等の表明【10月】
- ② 「校則点検・見直し委員会」で協議【10月下旬】

③ 中央委員会の決定に基づく生徒会と専門委員会の取組【11・12月】

④ 生徒総会に向けての学級会議論【11・12月】

⑤ 生徒総会での議論と議決【12月】

※校則を改定しない場合も生徒総会の議決を経る。

※生徒総会は定期総会とする。

- ⑥ 校則を改定する際は、生徒会の取組状況及び生徒総会の議決、校則を取り巻く現状の評価並びに教員の意見を総合的に参酌して、校長が判断する。

- ⑦ 校則を改正する場合は、翌年度の 4 月 1 日施行を原則とする。

校則の妥当性はどうか、振り返りを行う。

4 校長の責務

校長は、校則の改定により、生徒が授業に集中できなくなったり、正当な理由がない中で教員の指示に従えない場面が見られたりして、正常な学校運営ができなくなる恐れがあると判断した時は、生徒会に警告した上で、令和 7 年度以前のルール等に戻すことがある。ただし、生徒会は、上記の警告を受けた際に、校長に意見表明ができるものとする。

5 普段の校則指導の在り方：「基準性」⇒「思考性」(生徒に問う指導や影響評価等)への転換

- (1) 校則の改定に伴い、いわゆる生徒の荒れを危惧する部分もあるが、表面的な現象面を捉えるのではなく、授業で集中できない場面や教師の指示に従えない場面の状況で推し量る。
- (2) 生徒の安全、衛生を優先するが、場所 (学校) で縛るのではなく、場面 (体育祭、体育の演技等、イベント等) に絞るなどして指導の徹底を図る。(どの教師も同じ指導を行う。)
- (3) 普段の生活の中でルールを破るなど逸脱した行動が多く発生した場合は、当該生徒に十分に考えさせるとともに、保護者に報告し、保護者と連携していく。